

有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減

1. ねらい

多様で健全な森林へ誘導するため、皆伐予定地に生育する有用広葉樹を積極的に保残するとともに、保残木の占有面積を植栽面積から除外して植栽本数を削減します。

2. 概要

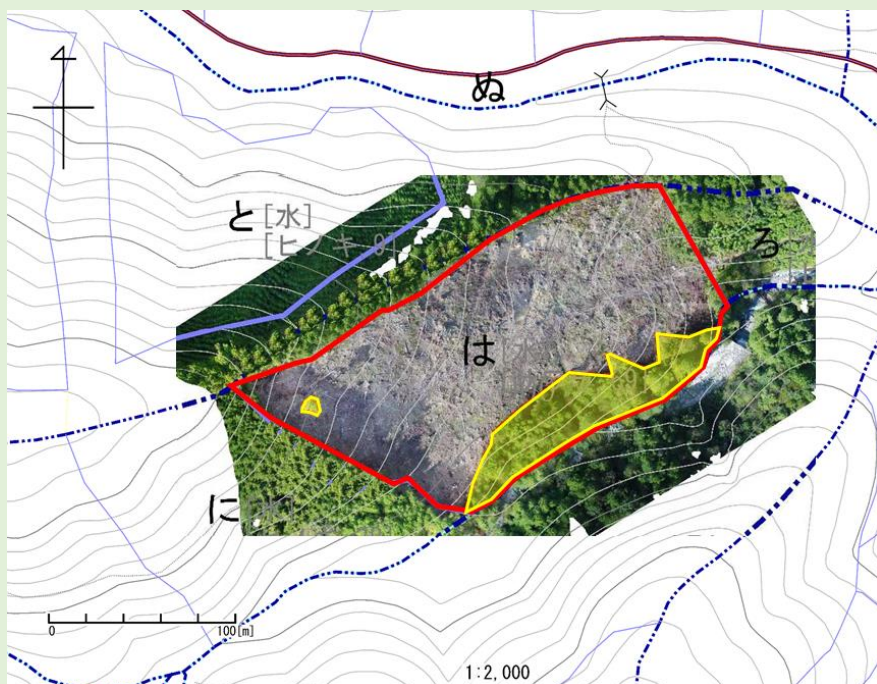
保残する有用広葉樹の占有面積は、ドローンの自動飛行により写真撮影を行い、その空中写真をオルソ画像化することにより確定します。

3. 成果

～モデル事業地での効果の概要～

皆伐面積2.42haから保残木占有面積0.38haを除くことによりヒノキ植栽本数840本を削減することが可能です。

有用広葉樹を保残したことにより、その区域における植栽や下刈りなどの再造林経費を削減することが可能です。



有用広葉樹の保残状況

凡 例	
	保育・更新施業 対象区域
	更新面積からの 控除区域

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話 026-236-2566